

製品名: アセチルヒストン H3 (Lys9) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00847**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 15 kDa; Observed MW: 15-17 kDa

抗原情報

遺伝子名	H3C1
別名	H3K9ac; H3/j; H3C1; H3C2; H3C3; H3C4; H3C6; H3C7; H3C8; H3FJ; H3C10; H3C11; HIST1H3J
遺伝子 ID	8350
SwissProt ID	P68431
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成アセチル化ペプチド

背景

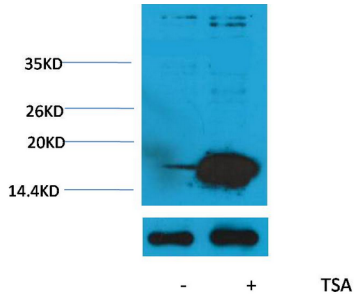
H3ヌクレオソームの核となる構成要素。ヌクレオソームはDNAをクロマチンに包み込み、DNAを鋳型として利用する細胞機構へのDNAのアクセスを制限します。ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たし

ます。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



アセチルヒストン H3 (Lys9) 抗体 (上) およびヒストン H3 (1G1) 抗体 (下) TDY055 を使用した、未処理または TSA 処理済みの HeLa 溶解物中のアセチルヒストン H3 (Lys9) のウエスタン プロット分析。